

## ◆さくらサイエンスプラン

### インドネシア・ベトナム高校生との合同学習

11月10日(日)～11月15日(金)、科学技術振興機構(JST) さくらサイエンスプログラムで、インドネシア、ベトナムからの高校生8名を招聘し、日高高校生とともに、県外研修、校内学習を行いました。「さくらサイエンスプログラム」は、アジア各国の優秀な青少年を短期間日本に招聘し、最先端の科学技術に触れ、大学・研究機関での交流活動を通じて、両国の人材・研究交流に繋げる取組で、日高高校での実施は今回で3回目になります。

県外研修では2日間で、理化学研究所放射光研究センター、兵庫県立健康科学研究所、理化学研究所生命機能化学研究センター等を訪問見学し、校内研修は、合同学習によるDNA分析実験・発表を行い、宮本圭先生(近畿大学)の遺伝子工学特別講義を受講しました。また、全校生徒による歓迎行事や部活動体験等で、多くの日高高校生との交流を深めることができました。プログラムに参加した生徒たちには、今回の貴重な経験を活かして、更なる高みに向けての活躍を期待します。



## ◆令和元年度第2回学校運営協議会 開催される。



11月13日(水)、第2回学校運営協議会が開かれました。当日は、インドネシア・ベトナムの高校生とのDNA分析実験、1年生古典の授業を見学し、その後、担当教員から「さくらサイエンスプラン」について説明を受け、協議を行いました。委員の方からは、「海外生徒との合同学習は、日高高校の生徒にとっても、海外の生徒にとっても、とても素晴らしい取組だと思う。生徒たちも前向きに取り組んでいた。また、指導されている先生方、通訳の先生は、的確でわかりやすく説明されていた。先生方の準備も大変でしょう。」「同じ1年生の古典の授業でも、教える先生によって、指導方法が全く違うのは参観していてとても興味深かった。」等の感想をいただきました。

### 【令和元年度日高高校・附属中学校運営協議会委員】

岩野清美(和歌山大学准教授)、木村三津子(双成会副会長)、小竹伸和(小竹八幡宮宮司)、栖原伸精(印南中学校校長)、船木武裕(前日高奨学会監事)、松山弘樹(大洋化学株式会社部長)、弓倉正啓(御坊小学校校長)、吉田卓司(ヨシダエルシス株式会社代表取締役社長)、池田尚弘(本校校長) (敬称略)

